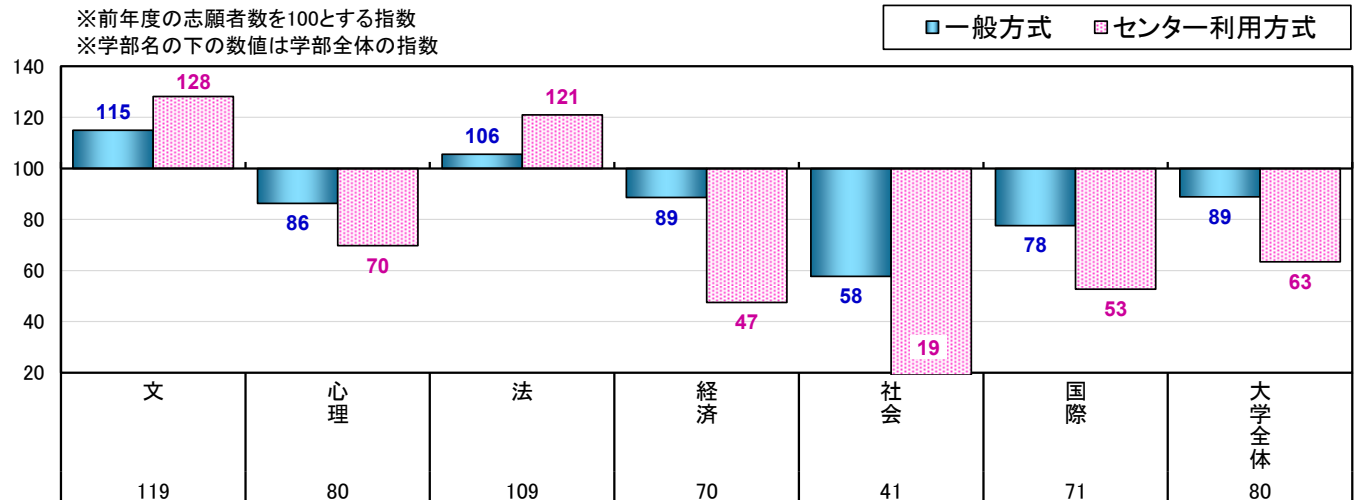


2020 年度入試状況分析【私立大】

明治学院大：センター利用方式は2年連続大幅減少

一般：-1,888人 センター：-3,536人



入試変更点 選抜方法：新規実施…心理(心理)〈A日程・英語外部検定試験利用〉
文(フランス文)、心理、法(グローバル法除く)、経済、社会、国際(国際)〈全学部・英語外部検定試験利用〉
…対象試験から TEAP 2 技能と GTEC CBT 除外、TEAP 4 技能スコア 236 点以上→225 点以上
法(法律)〈A日程・英語外部検定試験利用〉…出願資格→得点換算

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、5,424人(80)の大幅減少で2年連続減少。2方式とも2年連続減少で、センター利用方式(63)は合格者数を2年連続で大幅に絞り込んだ学部・学科が多かったことで敬遠され、2年連続大幅減少。学部別では、減少の4学部はいずれも大幅減少で、特に社会(41)は60%近い大幅減少。

<一般方式>
 ○文(115)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。(英文)(93)はやや減少で2年連続減少だが、他の2学科は大幅増加。
 ○心理(86)は、4年ぶりに減少。学科別では、(教育発達)(79)は大幅減少で2年連続減少。(心理)(90)は4年ぶりに減少。
 ○法(106)は、やや増加で2年ぶりに増加だが、学科別では、(消費情報環境法)(178)は前年度大幅減少の反動で激増だが、他の3学科は減少。特に(グローバル法)(53)は大幅減少で2年連続減少。
 ○経済(89)は、系統への人気低下で2年連続減少。3学科全てが2年連続減少。
 ○社会(58)は、系統への人気低下で大幅減少し、4年ぶりに減少。学科別では、(社会福祉)(39)は前年度激増の反動で激減し、(社会)(72)は大幅減少で2年連続減少。
 ○国際(78)は、系統への人気低下で大幅減少し、3年連続減少。2学科とも大幅減少で、(国際キャリア)(64)は4年連続減少。

<センター利用方式>
 ○文(128)は、前年度ほぼ半減の反動で大幅増加。学科別では、(英文)(86)は2年連続減少だが、他の2学科は増加。特に(フランス文)(298)は、前年度ほぼ8割減少の反動で3倍増となり、極端な増減が継続。
 ○心理(70)は、2学科とも大幅減少で、いずれも3年ぶりに減少。
 ○法(121)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(法律)(95)はやや減少で2年連続減少だが、他の2学科は増加。特に(消費情報環境法)(161)は激増で、反動による極端な増減が継続。
 ○経済(47)は、系統への人気低下に加え、3学科全てが合格者数を2年連続で大幅に絞り込んだことで敬遠され、いずれも大幅減少。特に(経済)(34)は激減。
 ○社会(19)は、激減で2年ぶりに減少。2学科とも激減。(社会福祉)(10)は前年度志願者数が2.7倍増と激増しながら、合格者数を70%以上も減少させたこと、(社会)(29)は前年度合格者数をほぼ90%も減少させたことでいずれも極端に厳しい競争になったことで敬遠された。
 ○国際(53)は、(国際)のみの募集だが大幅減少。系統への人気低下に加え、合格者数を2年連続で大幅減少させたことで激戦となったことで敬遠された。